

1 認知状況

【全国】令和7年12月末現在・【宮崎県】令和8年4月末現在

特殊詐欺とは、被害者に（1）電話やSNS等を通じて、対面することなく信頼させ又は関係を深めて信用させ、（2）指定した預貯金口座への振込その他の方法により、（3）現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝及び隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗を含む。）の総称。
令和8年4月1日の類型整理により、ニセ警察詐欺をオレオレ詐欺等から独立した手口と位置付けたほか、SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺を特殊詐欺の一手口とそれぞれ位置付け、全13手口と整理された。

<全国> 金額は億円	特殊詐欺 全体	増減		特殊詐欺手口13類型													
		件/円	比率%	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空金請求	運付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際 あっせん	その他	キャッシュ カード 詐欺盗	SNS型 投資	SNS型 ロマンス	
令和5年	認知件数 被害金額	19,038 452.6	+1463 +70.4	+8.4 +22.0	-	3,955	2,754	5,198	4,185	188	411	19	9	102	2,217	-	-
令和6年	認知件数 被害金額	21,043 718.8	+2005 +266.2	+10.5 58.8	-	6,752	2,276	5,716	4,070	338	78	21	86	321	1,385	6,413	3,824
令和7年	認知件数 被害金額	27,758 1,414.2	+6715 +695.4	+31.9 +96.7	-	14,393	1,682	5,686	3,184	380	200	36	476	485	1,236	9,538	5,604
令和7年 【12月末】	認知件数 被害金額	27,758 1,414.2	+6715 +695.4	+31.9 +96.7	-	14,393	1,682	5,686	3,184	380	200	36	476	485	1,236	9,538	5,604
昨年同時期	認知件数 被害金額	21,043 718.8	-	-	-	6,752	2,276	5,716	4,070	338	78	21	86	321	1,385	6,413	3,824

※警察庁刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策第二課集計。 ※令和8年4月1日から、特殊詐欺の手口は13類型に分類変更。 ※令和7年までの特殊詐欺全体の件数はSNS型投資・ロマンス詐欺を除く数値。
※令和6年1月1日から、SNS型投資・ロマンス詐欺を計上。 ※令和7年の数値は暫定値。被害金額は、百万円以下四捨五入。令和8年から全国統計は四半期ごとに発表。

<宮崎県> 金額は万円	特殊詐欺 全体	増減		特殊詐欺手口13類型													
		件/円	比率%	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空金請求	運付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際 あっせん	その他	キャッシュ カード 詐欺盗	SNS型 投資	SNS型 ロマンス	
令和5年	認知件数 被害金額	52 35,808	±0 +22,180	0 +162.7	-	3	2	34	7	0	2	1	0	1	2	-	-
令和6年	認知件数 被害金額	155 110,158	+103 +74,350	198.1 207.6	-	21	0	48	1	1	1	1	1	0	0	60	21
令和7年 【暫定値】	認知件数 被害金額	173 137,893	+18 +27,735	11.6 25.2	-	39	1	43	0	6	3	0	4	2	0	40	35
令和8年 【4月末】	認知件数 被害金額	63 60,547	0 +20,733	0 52.1	13	0	14	0	0	0	0	0	2	0	0	21	13
昨年同時期	認知件数 被害金額	63 39,814	-	-	-	13	0	25	0	1	2	0	0	2	0	12	8

※令和7年の数値は暫定値。被害金額は、千円以下四捨五入。
※令和8年から、これまで「オレオレ詐欺」に含まれていた「ニセ警察詐欺」が独立しました。

2 被害者の年齢構成・性別割合

		特殊詐欺全体		ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空金請求	運付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際 あっせん	その他	キャッシュ カード 詐欺盗	SNS型 投資	SNS型 ロマンス
		29歳以下	男性	9	16%	3		3						1		1
	女性	1				1										
30歳代	男性	2	8%			1									1	1
	女性	3				2										
40歳代	男性	6	19%	1		1									2	2
	女性	6				2									3	1
50歳代	男性	7	19%									1			2	4
	女性	5		1		1									2	1
60～64歳	男性	2	10%				1								2	1
	女性	4													2	
65～69歳	男性	2	5%												1	1
	女性	1														1
70歳代	男性	8	17%	3			1								4	
	女性	3		2			1									
80歳以上	男性	2	6%	1											1	
	女性	2		2												
合計	男性	38		8	0	0	6	0	0	0	0	2	0	0	13	9
	女性	25		5	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	4

3 交付形態別

	合計	振込型	現金 送付型	現金 手交型	カード 手交型	電子マ ネ型	決済型	カード 窃取型	暗号資産 送付型
件数	63	40	0	9	0	1	5	0	8
件数割合	-	63.5%	0.0%	14.3%	0.0%	1.6%	7.9%	0.0%	12.7%
被害額 (万円)	60547	43,564	0	13,075	0	13	190	0	3,705
被害額割合	-	72.0%	0.0%	21.6%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	6.1%

※ 率は小数点第2位以下四捨五入。金額は、千円以下四捨五入
「決済型」はPayPayなどのコード決済やクレジットカード決済が該当

4 ニセ警察詐欺を独立した手口として位置付けた理由

ニセ警察詐欺は、手口分類上は大半が「オレオレ詐欺」に分類されている一方、従来の「オレオレ詐欺」（いわゆる息子騙り等）の場合、被害者はほぼ高齢者に限られていたが、ニセ警察詐欺の被害者は50代までの者で6割を超え、また、ニセ警察詐欺の場合は、架空だけではなく、SNSのテレビ電話やメッセージ機能を使用されているなど、ニセ警察詐欺には従来のオレオレ詐欺には見られない特徴が認められ、被害も顕著であることから、今後、独立した手口として位置付け把握することで、よりの確な対策につなげていくこととしたものです。